

MAYBELLINE
NEW YORK

2022
IMPACT
REPORT

影響報告書



MAKING AN IMPACT

MAKING IMPACT AT MAYBELLINE NEW YORK

- 02 Who we are / 概要
- 02 About this report / 本報告書について
- 02 Our progress / 進捗状況
- 03 Mission and approach
- 04 Our priorities / 優先事項
- 05 Brave Together
- 08 Conscious Together

WHO WE ARE

概要

メイベリンニューヨークは、世界有数のコスメブランドであり、ロレアルグループのブランドの一つです。私たちの使命は、最新の技術を駆使した先進的な処方とトレンドの専門知識、ニューヨークのエッジを組み合わせ、高性能で革新的な化粧品を120カ国以上で販売し、すべての人に提供することです。

2020年、私たちはBrave Togetherというプログラムを開始しました。このプログラムは、メンタルヘルスに関する会話における差別や偏見をなくし、非営利団体が主導するメンタルヘルスイニシアチブに資金を提供することに重点を置いた長期的な取り組みです。私たちは2025年までに、300万人が重要な1対1のサポートにアクセスできるよう支援することを目標にしており、この目標を達成するために1000万ドルの寄付を行うことを約束しています。

ABOUT THIS REPORT

本報告書について

2022年1月から12月までのデータとイニシアチブに基づいて、私たちが達成したことや直面した課題について報告している初の影響報告書をご覧いただきありがとうございます。私たちは世界第1位のコスメブランドとして、より責任あるビジネスモデルを創出し、前向きな変化を実行に移し、世界的な影響を推進するために取り組んでいます。この報告書は、私たちがどのような成果を上げたか、どのような課題に直面したか、そして私たちが自らの責任を果たすためにどのような取り組みを行っているかを明確に示すことを目的としています。次のページでは、昨年からの進捗状況について詳しくご説明します。

ASSURANCE

保証

このチェックマーク記号「✔」で特定される指標およびBrave TogetherとTakebackプログラムに関する定性的レビューについて、デロイトが限定的な保証を表明しました。

OUR PROGRESS

進捗状況



2022年の業績

750K

プログラム開始以降、75万人が1対1のサポートを受けました

\$3.3M

プログラム開始以降、330万ドルを寄付しました

2025年の目標

3M

300万人への1対1のサポート

\$10M

メンタルヘルスのNGOパートナーに1000万ドルを寄付します

2022年の業績

100%

新製品またはリノベーション製品の100%がエコデザインになっています* ✔

32%

当社の成分の32%は、豊富なミネラルや循環プロセスに由来するバイオベースです ✔

2030年の目標

100%

毎年新製品またはリノベーション製品の100%をエコデザインにします*

95%

ロレアルグループの成分の95%が、豊富なミネラルや循環プロセスに由来するバイオ由来の成分です**

* 改良製品には、新しい、またはリノベーションした処方および/または包装の製品（外注および規制開発を除く）や、環境に優しい化学、再生可能性、生分解性、生体毒性、リサイクル材料および寿命、コミュニティへの貢献、情報表示およびアクセシビリティなどの基準に基づき、SPOT（持続可能な製品最適化ツール）方法に従って環境影響または社会的影響を改善する製品が含まれます。
** 2030年までに、メイベリンニューヨークの成分の65%がロレアルグループの目標に貢献します。

MISSION AND **APPROACH**



LETTER FROM OUR GLOBAL BRAND PRESIDENT, **TRISHA AYYAGARI**

メイベリンニューヨークは、世界的にポジティブな影響を与えるブランドになることを目指しています。私たちは、特に2つの主要領域に焦点を当て、有意義な変化を生み出すために取り組んでいます。これに関連して、私たちは初めての影響報告書を共有いたします。

まず第一に、私たちは特に若い世代に対して、対話を促進し、不安やうつに対する差別や偏見をなくすためのイニシアチブをいくつか展開しています。これにより、メンタルヘルスに関する会話を改善し、その重要性を広めるに取り組んでいます。

私たちは、世界1位のメイクアップブランドとして、私たちの行動や業務が世界的に大きな影響を持つことを認識しています。そのため、私たちはビジネスモデルをより持続可能なものに変えることに取り組み、製品やプロセス全体で責任ある実践を推進しています。これにより、より良い未来に貢献することを目指しています。

より良いブランドになるために本報告書で、透明性を約束し、開発について共有します。まだ旅の始まりではありますが、今後のアクションに意欲的に取り組んでいます。

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Trisha Ayyagari'.

Trisha Ayyagari
Global Brand President



OUR PRIORITIES

優先事項

自分の買い物の決定について、消費者の意識はますます高まっており、自分の目的に合った企業を選択したり、強い影響を与えるプログラムを利用することが増えています。メイクアップに関する消費者の意図は、見栄えを良くするだけでなく、環境への影響および社会的影響を念頭に置いているブランドをサポートするという点でもあります。メイベリンニューヨークは、人々の気分を高めるだけでなく、よりよい世界のために尽力するようなメイクアップ製品を生み出して、消費者が頼ることのできるブランドでありたいと考えています。

ロリアルグループの一員であることはメイベリンニューヨークの誇りです。私たちは、ロリアル・フォー・ザ・フューチャーという世界的な持続可能性およびCSR戦略に直接貢献するため、持続可能な製品開発、環境保護、社会貢献などの取り組みを推進しています。

ロリアルのミッションを支えるため、私たちは2030年の目標を設定しました。

MAYBELLINE NEW YORK MAKEUP MAKE CHANGE

私たちの世界的な事業展開を認識し、私たちは消費者とグローバルなコミュニティをどのようにサポートして前向きな変化を推進できるかを評価しました。そのために、私たちはメンタルヘルスとサステナビリティに焦点を当てた2つの重要なプログラムを開発しました。これは、私たちが影響を与えることができると感じる重要な分野です。

当社のプログラムは、企業レベルでもより幅広い業界向けでも、進歩を念頭に置いて設計されています。私たちは変化が旅であるということを認識していますが、より意識の高いブランドになるための変革を加速することに尽力しており、また意欲的になっています。

BRAVE TOGETHER

不安とうつは世界的な問題であり、人々の自信を失わせる重要な要因となり得ることを私たちは理解しています。重要なメンタルヘルスへのリソースへのアクセスを改善するために、メイベリンニューヨークのグローバルプラットフォームを活用するBrave Togetherのプログラムを立ち上げました。このプログラムは、メンタルヘルスサポートが、個人が世界で活躍するために不可欠であるという信念によって支えられています。

CONSCIOUS TOGETHER

10年以上にわたり、私たちは環境フットプリントを最小限に抑えるよう取り組んできました。私たちのConscious Togetherプログラムでは、製品別およびプロセス別に、私たちが全体で環境に対してより意識を高め、責任を持つことができるよう、包装、製造、処方、およびリサイクルに関する2030年の意欲的な目標一式を提示します。

BRAVE TOGETHER

OUR COMMITMENT TO MENTAL HEALTH

私たちの「Brave Together」プログラムは、世界中のメンタルヘルスの非営利団体と協力して、1対1のサポートを誰もが利用できるようにすることで、不安とうつに対する差別や偏見を世界規模でなくすために立ち上げられました。

4人に1人が不安またはうつに苦しんでいます。¹

Brave Togetherを通じて、世界中の人々はメンタルヘルスの旅に関する実際のインスピレーションやストーリーをオンラインコミュニティ、ならびにメンタルヘルスの専門家、ヒント、リソースにアクセスすることができます。

Brave Togetherが展開されている各国で、私たちはメンタルヘルスサポートに特化した現地の非政府組織(NGO)と緊密に連携しています。私たちは、NGO

パートナーを活用して、現地の不安とうつの状況を理解するだけでなく、重要な1対1のサポートを人々に提供しています。

「メイベリンは常に、人生において物事を実現させる力を信じており、その準備ができていると感じるには、メンタルヘルスが欠かせないと考えています。私たちは、グローバルボイスを利用して、メンタルヘルスに関する会話への差別や偏見をなくし、サポートを簡単に利用できるようにしたいと考えています。」

Trisha Ayyagari
Global Brand President,
Maybelline New York





OUR GOALS

Brave Togetherは1対1の専門的サポートを300万人に届け、2025年までにメンタルヘルス活動に1000万ドルの寄付を目標としています。

私たちは現地のNGOと緊密に協力してヘルプラインやテキストメッセージ相談に資金を提供することで、必要な人々が支援やサポートにアクセスできるようにします。プログラム開始以降、すでに約26カ国で75万人以上にこのサポートを届けており、330万ドルを関連する活動に寄付しました。これまでの進捗を考えると、2023年末までに300万人（2025年の目標）に到達し、2025年末までには世界38カ国にリーチを拡大できると考えています。

Brave Togetherは米国、英国、カナダ、日本、ドイツ、イタリア、スペイン、フランス、アルゼンチン、メキシコ、インド、デンマーク、ルーマニア、セルビア、イスラエル、スウェーデン、オーストラリア、ニュージーランド、オーストリア、ノルウェー、南アフリカ、ギリシャ、韓国、フィンランド、インドネシア、チリの約26カ国で展開しています。

CREATING A CULTURE OF CARING

私たちは、あらゆる人が、あらゆる場所で、自分の世界に勇敢に挑むのを助けたいと考えています。Brave Togetherは、メンタルヘルスに関する会話への差別や偏見をなくすのに役立つ、重要な1対1のサポート、オンライン教育拠点、そしてさまざまなプログラムを提供します。

TALKING ABOUT MENTAL HEALTH IN THE U.S.

Brave Togetherの一環として、私たちはブランド所有のポッドキャスト「I'm Fine, You?」を立ち上げました。このポッドキャストは、不安やうつについての会話を普通のことにするだけを目指しているだけでなく、新しいオーディエンスにリーチし、支援のための無料のツールとリソースを提供できるように設計されています。立ち上げ時、この番組はApple Podcastsのメンタルヘルスカテゴリの上位1%に入っており、2022年末までに56,000件以上のダウンロードが行われ、全聴取率は69%でした。

ファッションやソーシャルメディアの専門家であるChrissy Rutherfordがホストとなっているこのポッドキャストでは、オリンピックの金メダリスト、TikTokの人気者、メンタルヘルスの専門家など、影響力のあるゲストを迎えてきました。これらのゲストは全員が自分の経験について自由に話し、無料で利用できる内密の1対1のメンタルヘルスサポートのリソースを宣伝するよう促されています。このポッドキャストは、実際の会話を通して不安やうつに対する差別や偏見をなくすというメイベリンニューヨークの価値観を伝えるものです。

それぞれのエピソードに対して、メイベリンニューヨークは、ポッドキャストのプラスの影響を与える能力を最大化できるよう、米国を拠点とするメンタルヘルス組織（2〜3例挙げるとThe Trevor Project, the National Alliance on Mental Illness (NAMI), The Loveland Foundationなど）に対し、寄付金を提供しています。私たちはさらに頻繁に週1回の頻度でエピソードを追加して、ポッドキャストのシーズン2を立ち上げることで、2023年もこの旅を続けました。

BRAVE TALK

私たちはNGOと緊密に協力し、大学生の60%以上が、不安やうつに悩んだとき、仲間に相談することを突き止めました。そこで私たちは、誰でも友人にサポートを届けることができるようになるトレーニングツールである、Brave Talkを開発しました。Brave Talkは、特に学生の間で、メンタルヘルスの問題に対する差別や偏見をなくすために私たちが追求する重要なイニシアチブです。The Jed Foundation(右参照)の臨床専門家と協力して生まれたBrave Talkは、お互いに難しいメンタルヘルスに関する会話を進めるためのツールと自信を学生に与えることを目的として設計された、無料で利用できる90分間のシナリオベースのトレーニングです。トレーニングでは、苦しんでいる人の徴候を見つける方法、彼らをサポートする方法、そして彼らを専門的な支援と結びつける方法を教えます。

私たちは2023年末までに米国全土の200の学校に無料トレーニングを提供するという幅広い目標を掲げ、ニューヨーク市全域の大学でBrave Talkを試験的に実施しました。これまでに、1,000人を超える学生がトレーニングを受けています。また、メイベリンニューヨークと提携している小売業者および世界中のロレアルの従業員にも、Brave Talkが提供されます。

「この種のリソースを大学生が利用できるようにすることは、かつてないほど重要になっています。私たちはメイベリンニューヨークとのパートナーシップを継続することを誇りに思っており、メンタルヘルスケアへのアクセスにおける障壁を打破するというメイベリンニューヨークのコミットメントに感謝しています。」

John MacPhee
CEO, The JED Foundation

EXPANDING REACH THROUGH PARTNERSHIPS

私たちは米国全土のパートナーと協力して、必要としている人々にメンタルヘルスのリソースを提供しています。

Our partners include:



The Jed Foundation

CRISIS TEXT LINE



For Young LGBTQ Lives



National Alliance on Mental Illness

米国の10代および若年成人のエモーションナルヘルスを守り、自殺を予防するNGO。

SMSメッセージングによる内密の危機介入を通じて、無料のメンタルヘルスに関するテキストメッセージサービスを提供する世界的な非営利組織。

レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クィア、およびクエスチョニング(LGBTQ)の若者向けの、世界最大の自殺予防・メンタルヘルス組織。

精神疾患に罹患した個人や家族のための教育プログラムを提供し支持する全国的なメンタルヘルス組織。

また、私たちはグローバルパートナーと協力し、当社のリーチをさらに拡大できることを誇りに思っています。現在までに、Crisis Text LineおよびThe JED Foundationとのパートナーシップを通じ、ヘルプラインによって75万人を超える人々を助けることができ、より広くサポートを提供するために、26カ国の現地NGOに330万ドル以上を寄付してきました。

OFFERING PROFESSIONAL SUPPORT IN MEXICO

メキシコは、メキシコ人の26.7%がある時点でうつを患い、さらに20%が65歳になる前に不安またはうつを患っており、不安とうつのレベルで経済協力開発機構(OECD)における先進国です。² Brave Togetherを通じて、私たちは現地のNGOであるFundación Origenと提携しました。このNGOは、専門の心理学者からメンタルヘルスサポートを受けることのできる無料ホットラインを提供しています。

私たちは、不安やうつに対する差別や偏見を減らし、メキシコで用意されている現地サポートに対する認識を高めることを目標として、メンタルヘルスに関する体験を共有する実在の人々の動画を紹介する、ターゲットを絞ったソーシャルメディアキャンペーンを実施しました。

このパートナーシップの開始後、最初の2ヵ月間(2022年11月~12月)だけで、2,000人を超える人々がFundación Origenのホットラインに電話するか、チャット・ヘルプラインにテキストメッセージを送りました。



WORKING TOWARD EQUALIZING ACCESS TO MENTAL HEALTH SUPPORT IN INDIA

インドの成人の42%超³が不安またはうつに立ち向かっており、同国の15~24歳の14%⁴が気分の落ち込みを報告しています。しかし、精神科医は10万人あたりわずか0.75人⁵しかいません。

私たちは、メンタルヘルスの注目度を上げるデジタル意識向上キャンペーンを実施するため、インドの現地NGO(SangathおよびMindclan)と提携しました。170人のソーシャルメディア・インフルエンサーと協力し、利用可能なメンタルヘルスリソースを促進するために、2600万人を超える人々に支援を届けることができました。また、Sangathと提携して、ヘルプラインによる年中無休のカウンセリングサポートを促進し、ワークショップ、パネル、活動を主催し、インドに拠点を置くメイベリンニューヨークの全従業員にリソースとトレーニングを提供しました。

2023年末までに、メイベリンニューヨーク・インドの従業員の100%がメンタルヘルストレーニングを受けます。2025年までに3500万ルピー(50万ドル)を寄付し、1対1のサポートを通じて20万人に支援を届けます。

² Health at a Glance:OECD指標。

³ The Diplomat:How Committed Is India to Mental Health?

⁴ UNICEF:小児および若年者におけるCOVID-19のメンタルヘルスへの影響。

⁵ NCBI:2017年メンタルヘルスケア法:Need to Wait and Watch.

CONSCIOUS TOGETHER

OUR COMMITMENT TO SUSTAINABILITY

メイベリンニューヨークでは全員が前進し、美容部門全体で前向きな変化を促したいと考えています。前向きな未来に移行するには、全員で力を合わせて努力しなければならないということを私たちは理解しています。私たちは、当社ブランドの持続可能な変革を加速するための具体的な目標を設定し、メイベリンニューヨークが環境影響を改善できる重要な領域に目を向けてきました。

地球への影響を心に留めて、より責任あるビジネスモデルを作るために設計されたプログラム、Conscious Togetherを私たちが立ち上げたのは、そのためです。これを行うため、製品を再処方する際に影響を念頭に置くことから、より持続可能な包装ソリューションの導入まで、より意識の高いビジネスに近づくための対策を講じています。

ASSESSING THE IMPACT OF OUR PRODUCTS

メイベリンニューヨークは美容事業に携わっていますが、持続可能性に関して言えば、変化とは表面上のものだけではないということも理解しています。私たちはこれまでに達成したことを評価し、称賛していますが、今後もまだやらなければならないことを認識しています。

私たちは新製品を発売し、既存製品を再処方するにあたり、地球への影響の少ない選択肢を提供するために、製品処方を評価しています。

私たちは2030年までに、成分の95%をバイオ由来のもの、または豊富なミネラルや循環プロセス由来のものとするというグループの目標に貢献することを目標としています。これは、補充や再生が可能な成分への依存度を高め、自然資源への影響を軽減するという考え方です。

水面下では、生産プロセスに注目しています。所有している生産設備の50%が再生可能エネルギーを使用して電力供給を受けているため、残りのギャップを埋めることを目標に設定し、2025年までにメイベリン ニューヨーク製品を生産している全所有拠点が100%の再生可能エネルギーを利用することを目指しています。

MAYBELLINE NEW YORK KEY PERFORMANCE INDICATORS

2022 PROGRESS



2030年までに、すべてのプラスチック包装は100%再生プラスチックから作られることになります

3.5%

包装全体の3.5%が100%再生プラスチックで作られています ✓



2025年までに、メイベリンニューヨーク製品を生産している当社所有の全製造拠点で100%再生可能エネルギーが使用されるようになります

50%

メイベリンニューヨーク製品を生産している当社所有の製造拠点の50%で100%再生可能エネルギーを使用しています ✓



2030年までに、新製品またはリノベーション製品の100%をエコデザインにします

100%

新製品またはリノベーション製品の100%がエコデザインになっています ✓



2030年までに、メイベリンニューヨークは、成分の95%**が豊富なミネラルや循環プロセスに由来するバイオ由来のものになるというロレアルグループの目標への貢献度を高めます*

32%

当社の成分の32%は、豊富なミネラルや循環プロセスに由来するバイオ由来のもので、95%というロレアルグループの目標に貢献しています ✓



世界中で回収プログラムを拡大

50 TONS

7カ国3,200カ所から50トンの空製品を回収しています

**2030年までに、メイベリンニューヨークの成分の65%がロレアルグループの目標に貢献します。

* バイオ由来成分は、植物原料などの再生可能な原料に由来します。私たちは当社の研究&イノベーションチームと協力し、変換、抽出または発酵という、より責任あるプロセス（カーボンパクト、廃棄物、溶媒の使用の低減など）を用いて、高性能な再生可能成分の処方にグリーンサイエンスの力を活用しています。グリーンサイエンスの実践のなかには、環境フットプリントを削減し、化学物質の使用を最小限に抑えるのに役立つ実践を用いた成分の入念な栽培、変換および処分などがあります。

RE-EXAMINING OUR PACKAGING

2030年までに、包装を含め、新製品またはリノベーション製品の100%をエコデザインにします。つまり、私たちは製品のライフサイクルを通じて、環境影響に配慮した製品を継続的に設計します。

私たちは、消費者が愛着を抱いている製品が持続可能性を念頭に包装されるよう、包装を進化させています。

2018年以降、600トン再生プラスチック(台座部分を除いた自由の女神の3倍以上の重量)に置き換え、未使用プラスチックの使用削減に向けて総力を挙げて取り組んできました。

包装の環境フットプリントを削減するため、私たちはPCR、または使用済みのリサイクル材料を活用していますが、これらは未使用材料よりもカーボンインパクトが低くなっています。

Our actions have included:

- ・ ファンデーションのガラス瓶はすべて、使用済みのリサイクル(PCR)材料を20%以上使用して作られています。
- ・ 米国の工場を組み立てられた当社のすべてのカード製品については、プリスターカードに再生プラスチックを50%使用しています。
- ・ カラーセンサーショナルリップスティックの一次包装の重量を世界全体で10~14%削減しました。
- ・ EUおよび米国において、当社の不透過性チューブ(インスタントパーフェクターマットで使用されているもの)を24%以上のPCR材料で作るよう移行しています。

今後、私たちは2030年までにすべてのプラスチック製品の包装を再生プラスチックから作ることを約束し、リサイクル材料の使用を増加させるための行動にさらに労力を投じます。



SUPPORTING RECYCLING CHALLENGES IN SMALL AND RURAL COMMUNITIES ACROSS THE U.S.

Small-Town Access Fundはわずか1年あまりで、8つの州で11のプロジェクトを立ち上げ、他にも2023年以降のパイプラインがいくつかあります。これらのプロジェクトは、推定3,500トンのリサイクル可能な廃棄物をごみ廃棄場から流用することで、49,000を超える世帯に新たなアクセスを提供したり、アクセスを改善したりし、教育を提供する見通しです。

「メイベリンニューヨークとのパートナーシップにより、小さな町でのリサイクルへのアクセスおよびインフラをサポートし、米国のリサイクルシステム全体に意義のある変化をもたらすことに感謝しています。すべての人が、どこに住んでいても、何かを捨てるのと同じように、簡単にリサイクルできることが非常に重要です。」

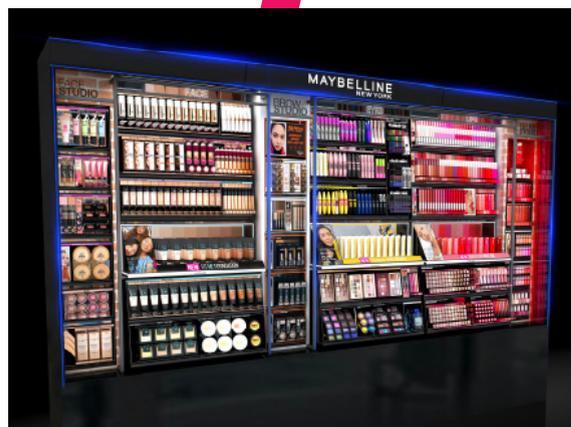
Cody Marshall
Chief System Optimization Office, The Recycling Partnership

メイベリンニューヨークは、すべての消費者のため美容へのアクセスを民主化することに尽力しています。これは、製品の廃棄およびリサイクルにも及ぶアプローチです。消費者が生活し、仕事をしている多くのコミュニティではリサイクルが利用できず、推定4000万人に影響していることを私たちは認識しています。

2022年9月のClimate Week NYCで、ロレアルUSAとメイベリンニューヨークは、The Recycling PartnershipのSmall-Town Access Fundに対し設立サポートを行うことを発表しました。これは、人口5万人未満の米国の町におけるリサイクルプログラムをサポートするための基金です。これらのコミュニティは合計2700万世帯となり、それぞれ年間約767ポンドのリサイクル材料を生み出しています。

THE ECO-DESIGNED MAKEUP WALL

ドイツでは、プラスチックの使用とエネルギー消費を削減するため、サプライヤーと協力して新しいメイベリンニューヨークのウォールユニットをデザインしました。これまでのところ、2017年には前世代のウォールユニットと比較して、プラスチック使用量を65%、エネルギー消費量を32%、炭素排出量を26%削減しており、良い成果を出しています。



ENGAGING CONSCIOUS DISPOSAL

私たちは、リサイクル技術およびプロセスに投資し、世界各国で回収プログラムを拡大して、製品の寿命が来たときに顧客や消費者が責任を持って廃棄できるようにすることを目指しています。これらの回収サービスを通じて、消費者は空製品をごみ廃棄場送りにするのではなく、可能な限り再利用およびリサイクルのために返却することができます。これまでに50トン以上の空製品を回収し、7カ国（イギリス、フランス、カナダ、オーストラリア、香港、台湾、日本）3,200店舗で回収プログラムを開始しました。



RECYCLING PROGRAM IN TAIWAN

メイベリンニューヨークおよびWatsons Taiwanでは、セレクトストアにリサイクル回収箱を設置しており、全国25の回収箱から6,000を超える製品を回収しています。この協力には、リサイクルに対する消費者インセンティブが含まれており、持続可能性トレーニングプログラムのための台湾の環境非営利組織であるRE-THINKに寄付が行われています。



EXPANDING RECYCLING ACCESS IN THE UK

私たちは、Tesco、Sainsbury's、Superdrugとの継続的なパートナーシップのおかげで、市場のすべてのメイクアップブランドを受け入れている、英国最大のメイクアップリサイクルプロジェクトに参加できて誇りに思っています。現在、私たちは1,300カ所以上にリサイクルスタンドを構築しています。

このパートナーシップを通じて、40トン以上のメイクアップ包装を回収し、2021年から2022年の間に、スタンド数とメイクアップ回収量を倍増させて、プログラムの範囲を拡大し続けてきました。

私たちは、人々ができるだけ簡単に自分の役割を果たし、メイクアップ包装の廃棄物を高い意識を持って処分できるようにすることを目指しています。最も重要なのは、英国全土で可能な限り多くの店舗にメイクアップのリサイクルスタンドを展開することです。すでにメイクアップ製品を販売しているすべてのTescoにスタンドがあります。

私たちの目標は、英国人口の75%以上がメイクアップのリサイクルを簡単に利用できるようにすることです。



私たちは、影響力のある変化をもたらし、業界を前進させることに尽力しています。だからこそ、**MAKEUP MAKE CHANGE** プラットフォームとそれに付随する**BRAVE TOGETHER** および **CONSCIOUS TOGETHER** イニシアチブを通じて、私たちの世界的な事業展開を活用し、顧客とそのコミュニティに前向きな変化をもたらすのです。世界のメンタルヘルスパートナーのネットワークと協力し、私たちは不安とうつに対する差別や偏見をなくし、**BRAVE TOGETHER** を通じてメンタルヘルスのための1対1のサポートをさらに利用しやすくするよう取り組んでいます。また **CONSCIOUS TOGETHER** プログラムは、2030年までに達成することを目指している包装、製造、処方、廃棄に関する意欲的な目標を掲げ、より責任のあるビジネスモデルの構築を可能にしています。私たちは共に、人々が最高の気分になるのを助け、美容をさらに意識の高いものにすることを目指しています。